

2026年3月期第1四半期 決算説明資料

2025年8月14日
株式会社エヌ・シー・エヌ

- 1. 会社概要・事業概要**
- 2. 連結業績ハイライト**
- 3. 第1四半期のトピックス**
- 4. 今後の成長戦略**
- 5. 株主還元の方針**

1. 会社概要・事業概要

会社の目標

日本に安心・安全な木構造を普及させる。

日本に資産価値のある住宅を提供する仕組みをつくる。



日本の木造住宅には耐震性がない

1995年 阪神・淡路大震災

木造家屋の全壊・半壊・焼失：24万8,000棟（約45万世帯）



理由

木造2階建以下の建築物は

構造設計の義務がない（4号特例）

法律で規定されていないため、
木造住宅の約90%が安全性が不明である



木造の構造計算を
建築業界に浸透させる会社が必要



木造建築規模による
構造計算義務の適用範囲



当社独自の木造建築用の建築システム「SE構法」を開発

鉄骨造において主流だったラーメン工法を木造住宅に取り入れ、安全かつ便利に利用できるようにシステム化。

全棟**構造計算**を実施



強度のわかる**集成材**



強度を計算できる**SE金物**



高い耐震性
+
設計の自由度



耐震構法
SE構法

木造の中古住宅は再販価値がない

日本の中古住宅の現状

築20年以上の木造家屋は評価額が0
土地代のみの流通となっている



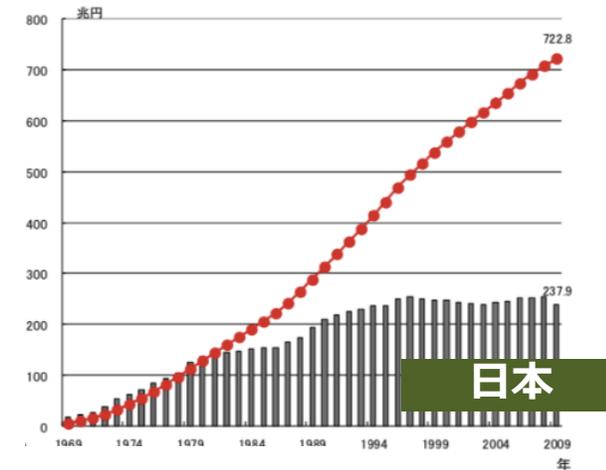
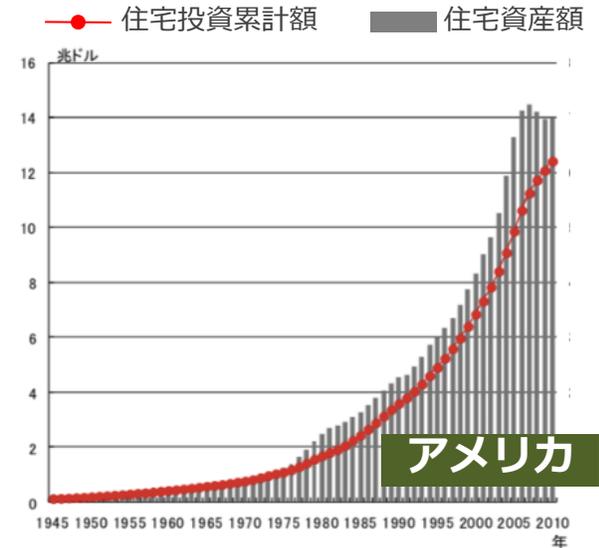
理由

日本の木造住宅は、
住宅の履歴、耐震性、断熱性などの
エビデンスがない



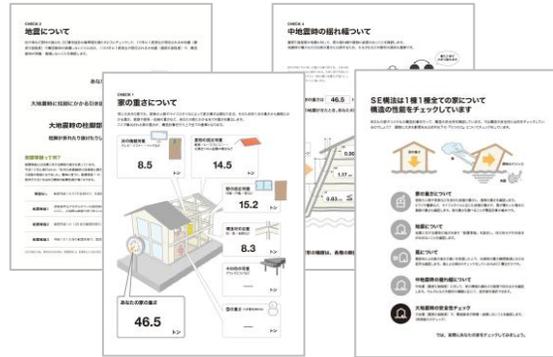
施工履歴、構造計算書、省エネ計算書の
作成・保管をおこなう会社が必要

住宅投資累計額と住宅資産額



出所：野村資本市場研究所
「我が国の本格的なリバース・モーゲージの普及に向けて」

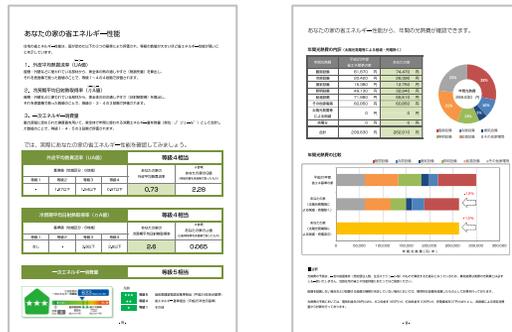
構造計算書



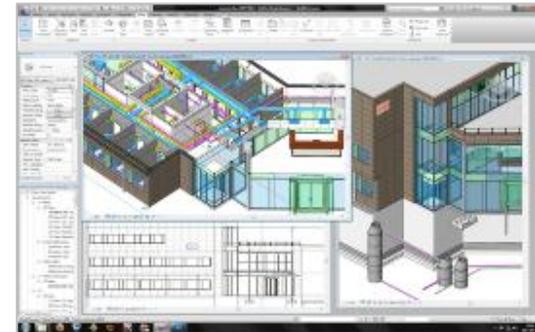
性能保証書



省エネ計算書



木造住宅のBIM化



※ BIM

Building Information Modelingの略称で、建築物のデータベースを、建築の設計、施工から維持管理までのあらゆる工程で情報活用を行うためのソリューション

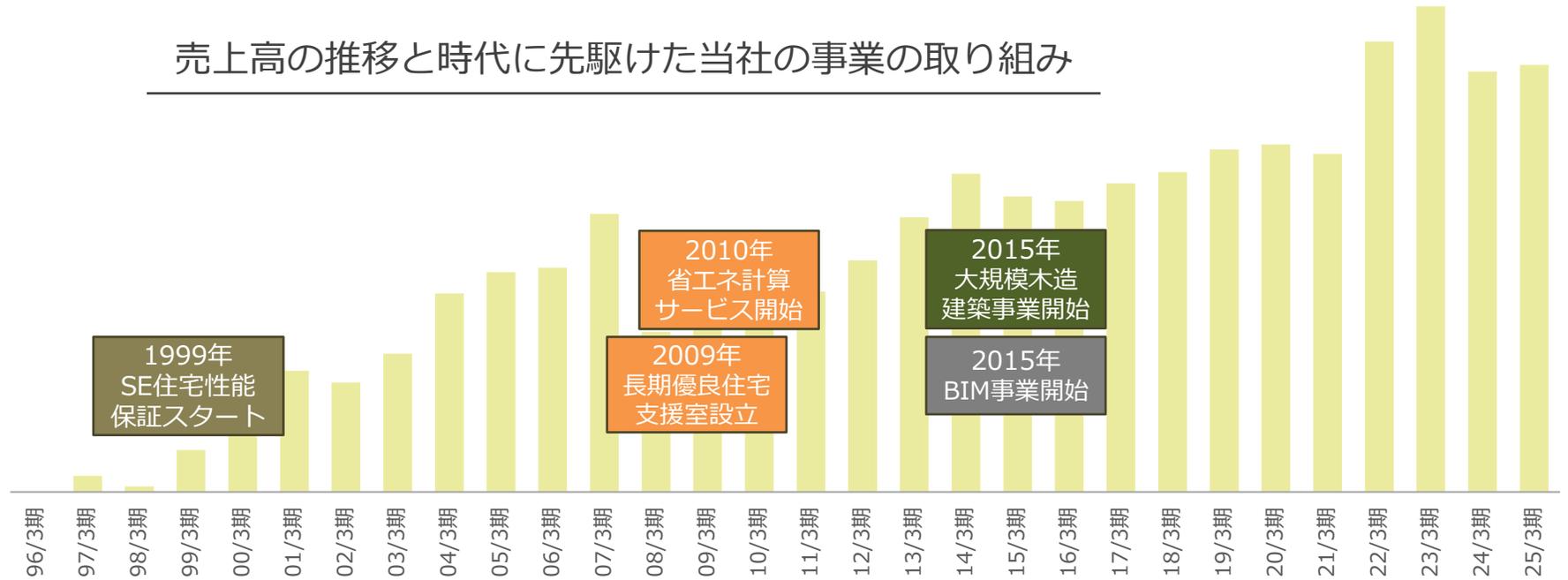
エヌ・シー・エヌは
木造の課題を仕組みで解決する会社

時代のニーズとともに成長する4つのセグメント

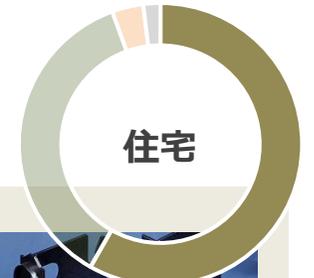


売上高の推移と時代に先駆けた当社の事業の取り組み

分野別売上高構成比



構造計算をおこなった耐震性の高い木造住宅を普及させるため、 全国の登録施工店に「SE構法」の住宅を提供



工務店を中心としたSE構法登録施工店ネットワークを通じて展開する「ネットワーク展開」とハウスメーカーを通じて展開する「ハウスメーカー対応」に分類して事業を展開。

構造設計や材料供給の安定供給だけでなく、工務店や設計事務所の抱える課題をワンストップで解決できるサービスを提供している。



重量木骨の家

耐震構法 SE 構法

重量木骨の家プレミアムパートナーが耐震構法SE構法をブランド化し、資産価値の高い家を提供する『重量木骨の家』を展開。

※プレミアムパートナー
SE構法の開発供給元の当社と連携し資産価値の高い家の普及を目指す提案力と技術力を併せ持つ工務店・住宅会社のネットワークのこと



重量木骨の家 実例 (SE構法専門雑誌『ML Welcome』より)

高い技術力と設計力を要する大規模木造の建築をサポート 難易度の高い特殊施工にも対応



SE構法を使い空間の広がりを活かした様々な用途の中大規模木造建築を設計している。



CAFE
ベーカリー&レストラン 沢村 旧軽井沢



店舗

無印良品木造店舗 唐津店



複合施設

九州電力 薩摩川内複合施設 センノオト

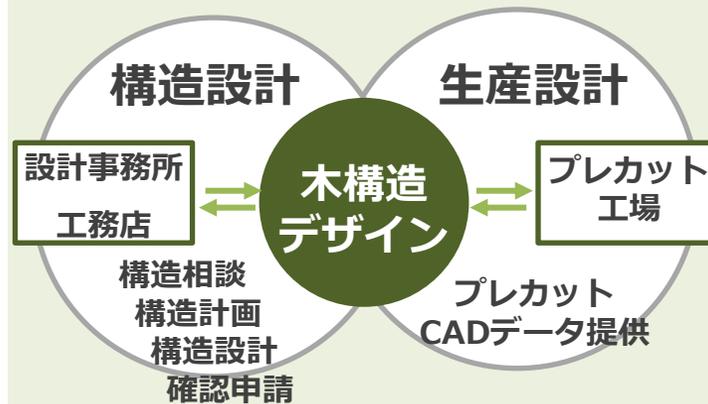


教会

嘉手納バプテスト教会 大湾東チャペル

木構造デザイン

構造設計事務所の木構造デザインは、中大規模木造に特化したサービスを提供しSE構法以外の在来、大断面、2×4、CLTまで多様な工法に対応した構造設計サポートをおこなっている。



大断面集成材加工や特殊加工、大規模木造建築の施工力に強みを持つ会社であり、多くの大規模木造建築を手掛けている。また、不燃木材「もえーせん」の製造および販売もおこなっている。



Port Plus | 純木造11階建



SunnyHills 南青山

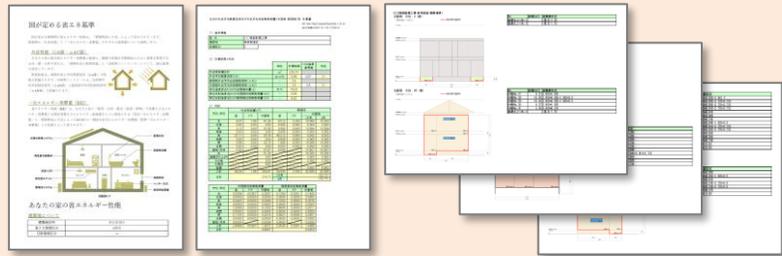


豊田市博物館

住宅の資産価値向上、ゼロエネルギー住宅の普及に向けて 省エネルギー計算やサポートサービスを提供



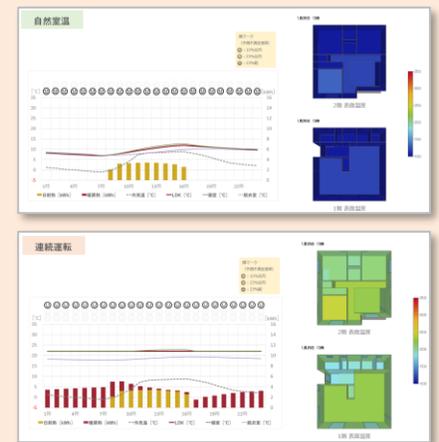
省エネ計算 (集合・戸建・非住宅)



ZEH水準リノベーション (マンションリノベーション)



室温・燃費 シミュレーション



ZEB化と補助金支援 (施設建築)

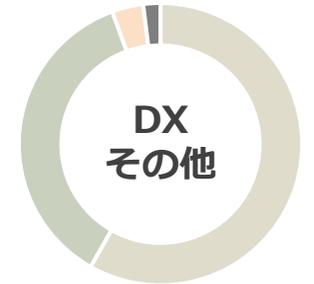


評価書申請サポート (BELS/性能評価)



平均気温 [°C]	年間合計			
熱負荷 [kWh]	暖房	5,944 kWh/年	10,259 kWh/年	64 kWh/m ² 年
	冷房	4,314 kWh/年		
一次エネルギー [MJ]	暖房	13,038 MJ/年	22,415 MJ/年	140 MJ/m ² 年
	冷房	9,378 MJ/年		
燃費 [円]	暖房	36,067 円/年	62,010 円/年	386 円/m ² 年
	冷房	25,942 円/年		

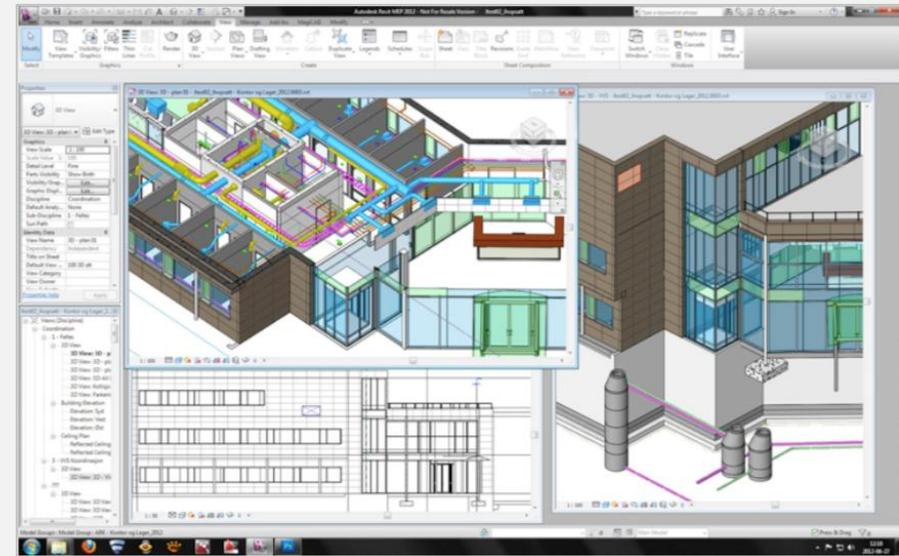
- あらゆる工程で情報活用を行うためにBIMで建築物のデータベースを管理。
- 情報を一元管理し、様々なソフトやツールを繋ぐことで木造建築のDX推進を実現していく。



高画質建築空間 シミュレーションサービス (MAKE ViZ)



BIMイメージ

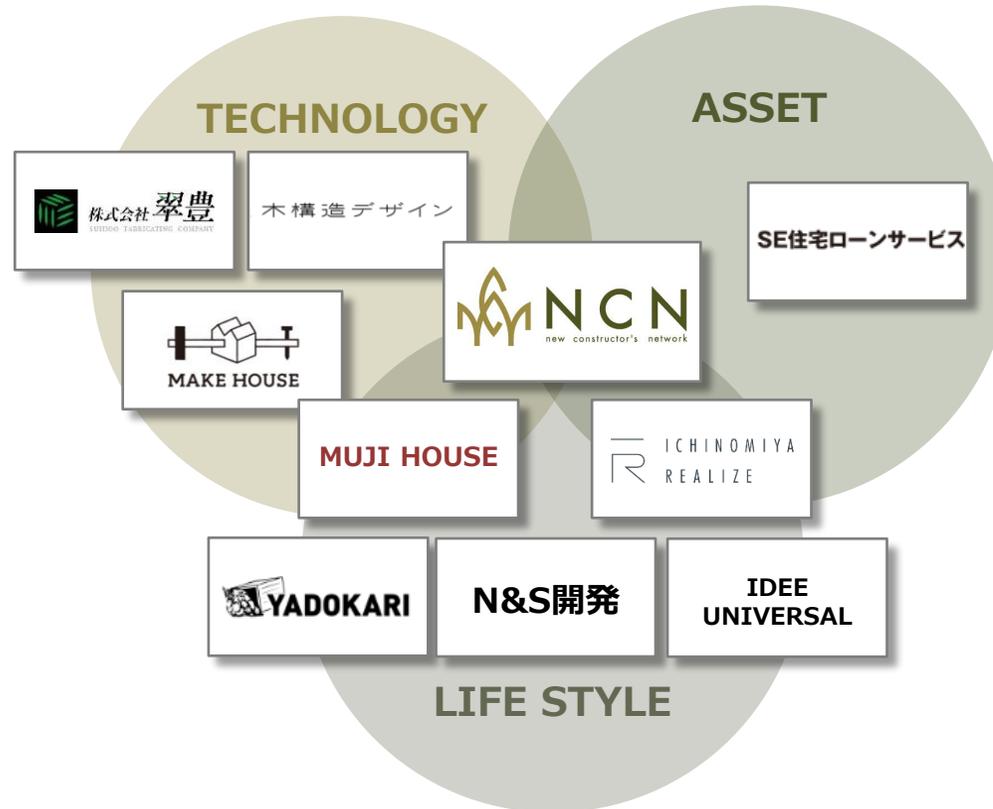




**NCNグループは木造建築業界にこれまで
なかった“仕組み”を生み出しています。**

SE構法登録施工店 625社
(2025年6月末現在)

グループ会社
9社



- (株)良品計画との合併会社MUJI HOUSEでは、無印良品の家をはじめ、マンションリノベーションや店舗の施工領域にも事業を拡大している。

無印良品の家



木の家

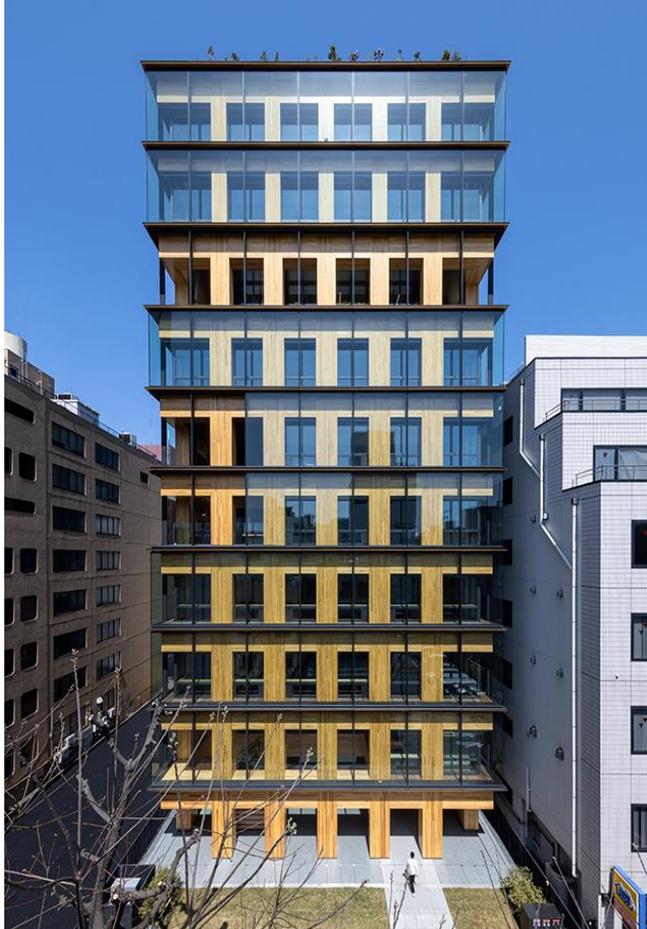
リノベーション



店舗



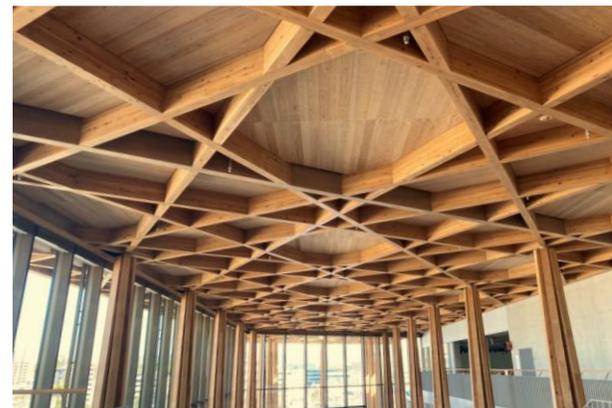
- 大規模な木造建築の施工や特殊加工において、難易度が高い案件を数多く手がけており、高い施工技術を持つ会社。



Port Plus | 純木造11階建



SunnyHills 南青山



豊田市博物館

N&S開発

N&S開発

サブスク型セカンドハウス事業を展開する(株)Sanuとの合併会社
(出資比率 Sanu : 50.01%、NCN : 49.99%)



サブスク型セカンドハウス事業を展開する(株)Sanuとの合併会社『N&S開発』では千葉県一宮市に建築したSANU Apartmentの建設に携わり、建物を所有。

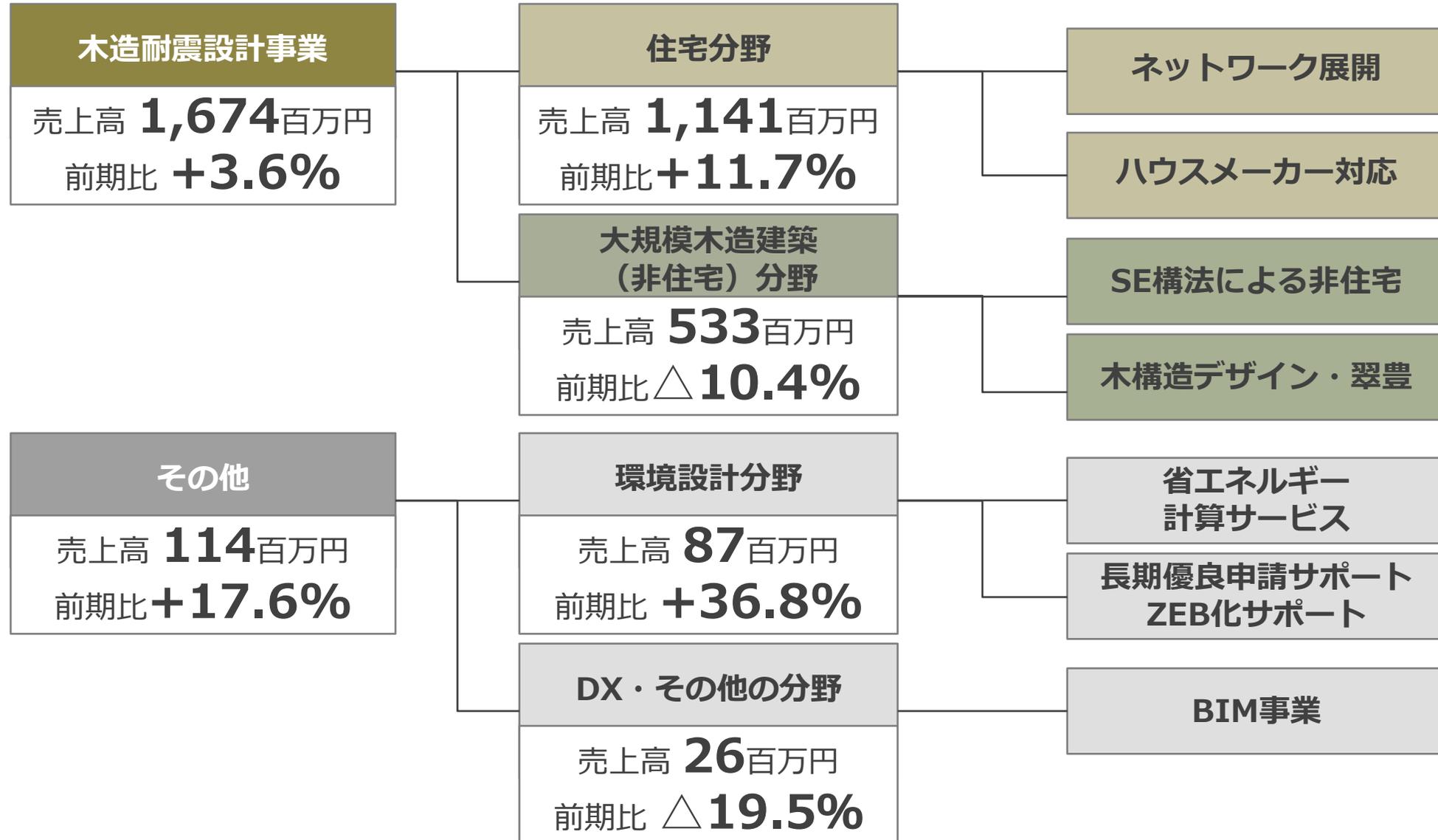




2. 連結業績ハイライト

(百万円)	26/3期 1Q	25/3期 1Q	増減
売上高	1,788	1,713	+74
売上総利益	482	479	+3
販管費	524	487	+37
営業利益	△ 42	△ 8	△ 34
営業外損益	△ 26	△ 43	+16
経常利益	△ 69	△ 51	△ 17
法人税等	△ 12	△ 15	+3
非支配株主持分	3	17	△ 13
親会社株主に帰属する 当期純利益	△ 60	△ 53	△ 6

※ 百万円未満切り捨てで表記しております。



住宅分野

- 法改正の影響を受け、確認申請期間が長期化したことにより、構造計算出荷数が減少。
- OEM（ハウスメーカー対応）の構造計算出荷数、SE構法出荷数は、引き続き低調。

大規模木造建築（非住宅）分野

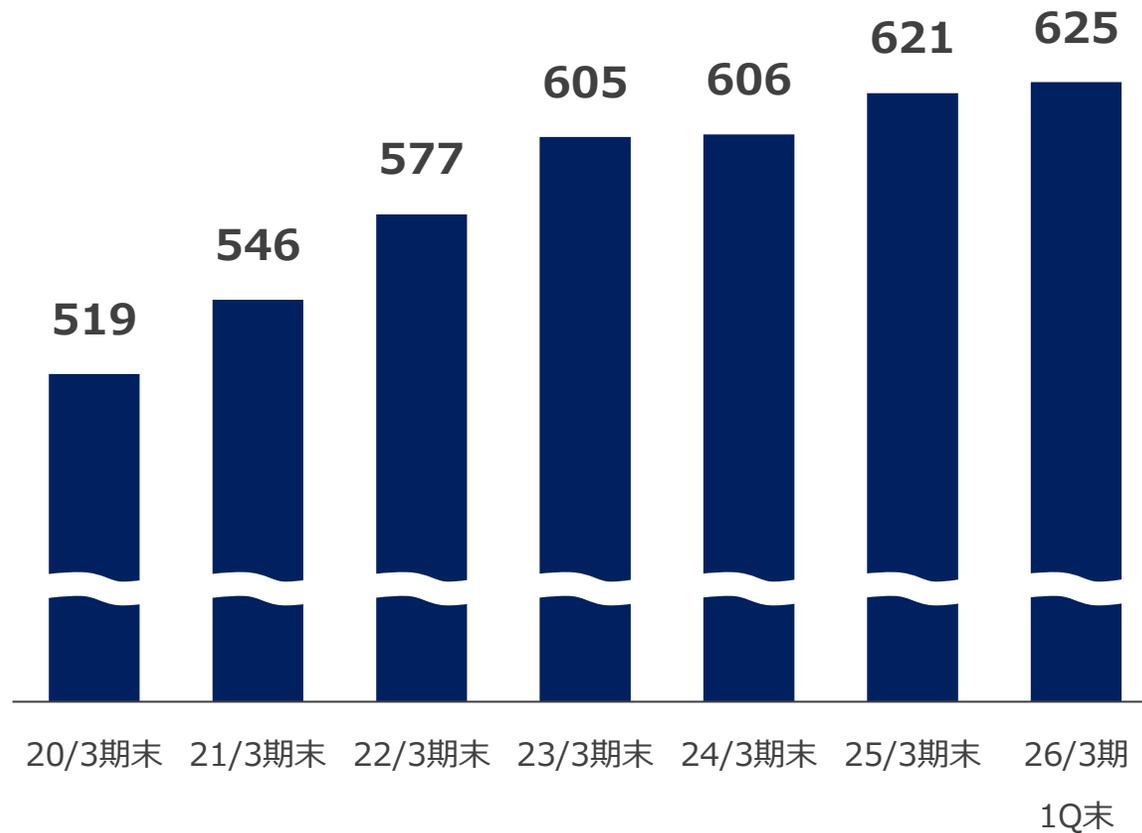
- SE構法の構造計算出荷数は安定的に推移。
- 翠豊は昨年同期に比べ大型案件の出荷が少なかったことにより、売上高が減少。

環境設計分野

- 省エネ計算数の大幅増加
 - ✓ 住宅・集合住宅・リノベーションの全てにおいて省エネ計算数が増加。
- 法改正（確認申請の長期化）の影響を受け、長期優良住宅申請サポート件数は減少。

- 登録施工店は新たに10社新規加入し、625社となった。

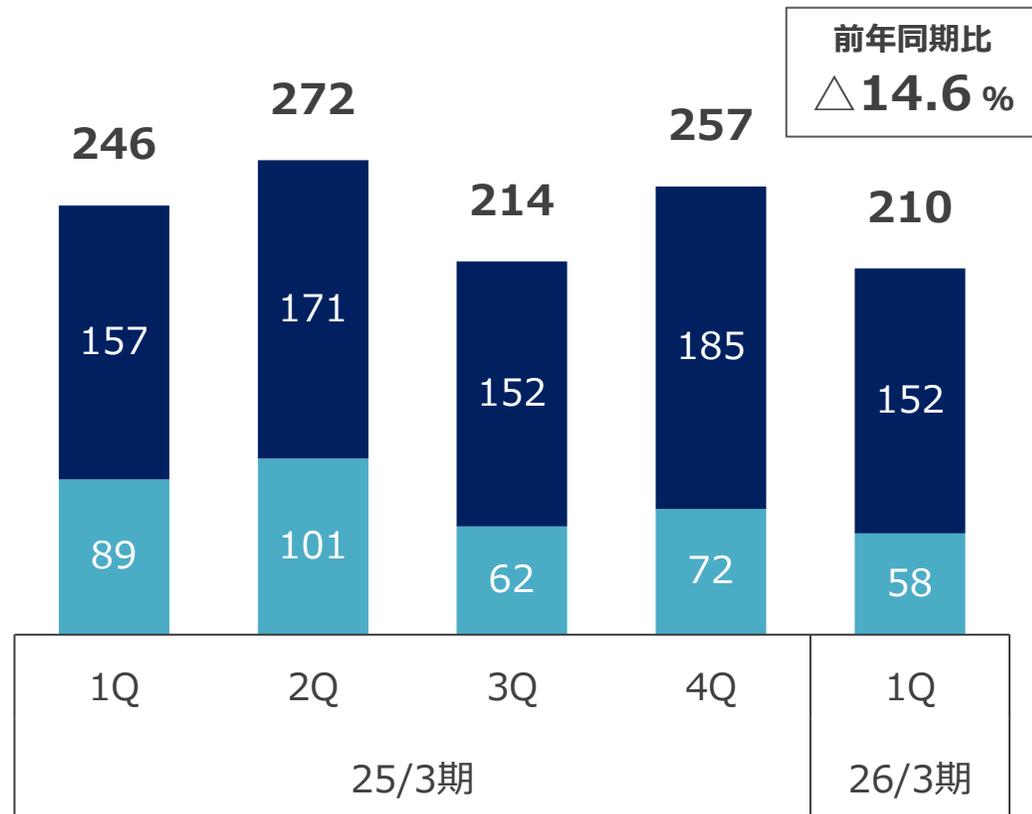
登録施工店数の推移 (社)



[26/3期 1Q]
新規加入 10社
退会 6社

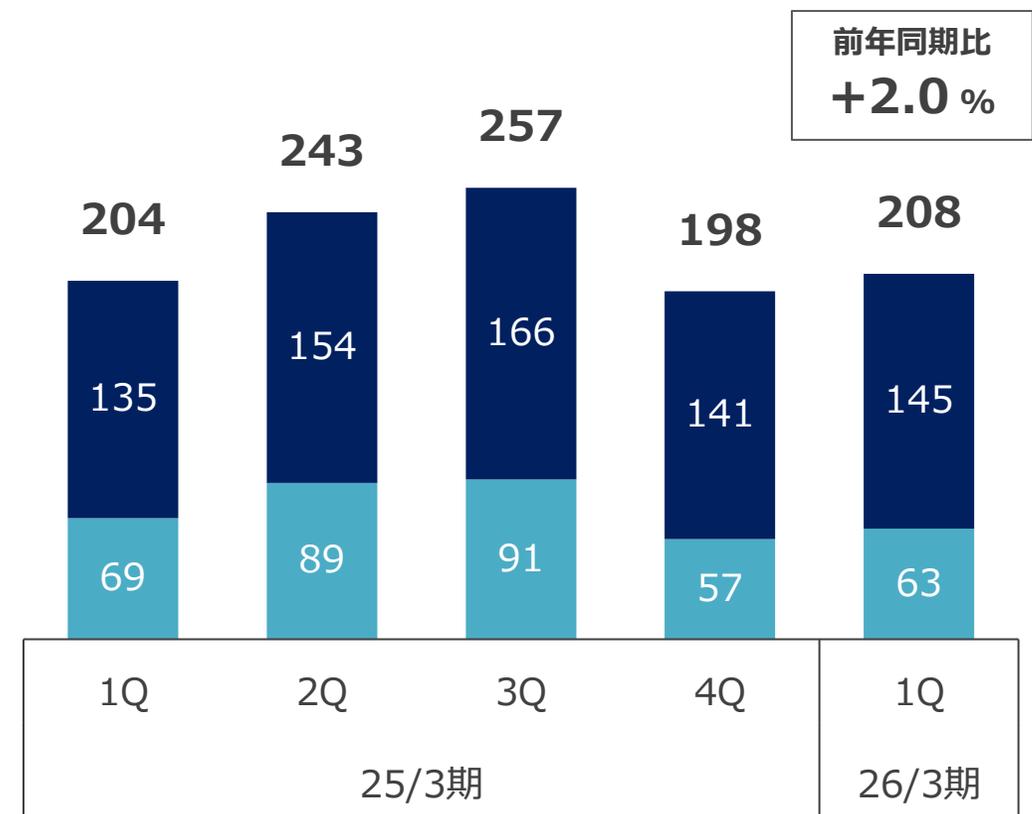
- 法改正の影響を受け、ハウスメーカーへの構造計算出荷数は前年同期から大きく減少。
- SE構法出荷数は前年同期並みとなった。

構造計算出荷数 (棟)



■ ハウスメーカー対応 ■ ネットワーク展開

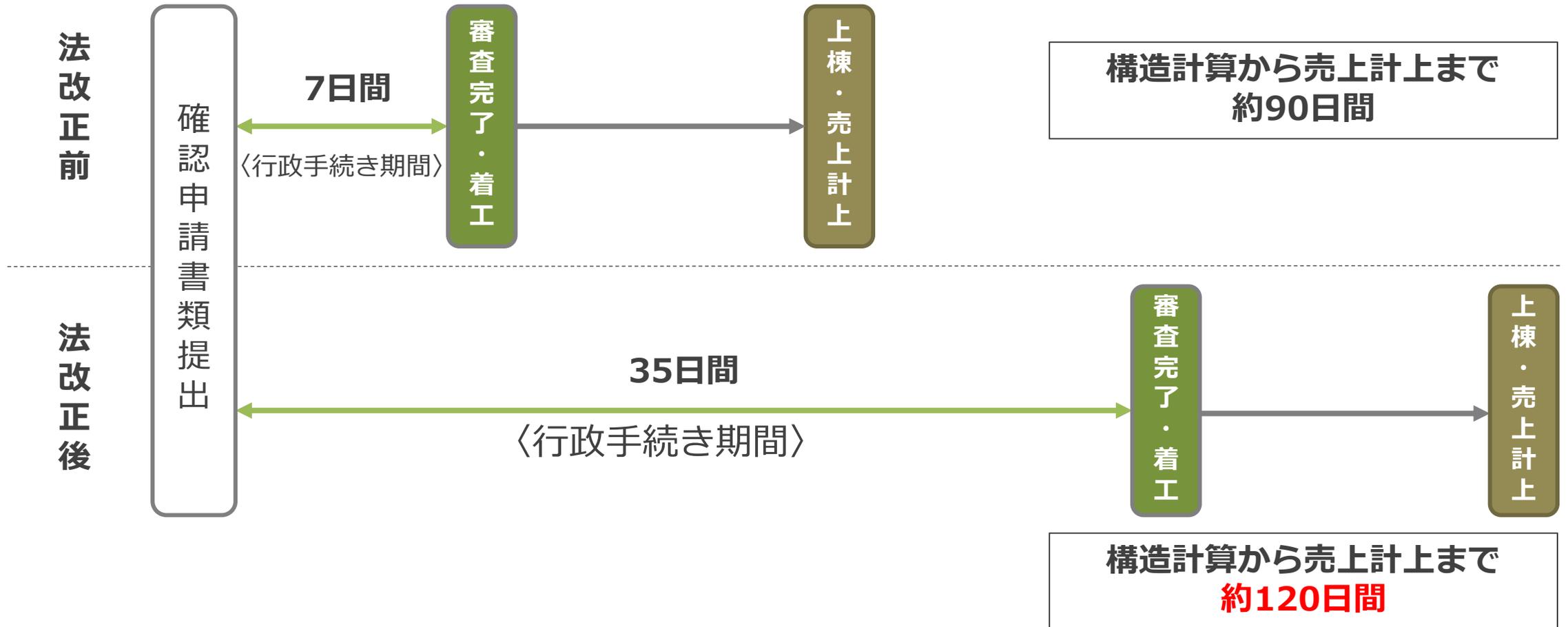
SE構法出荷数 (棟)



■ ハウスメーカー対応 ■ ネットワーク展開

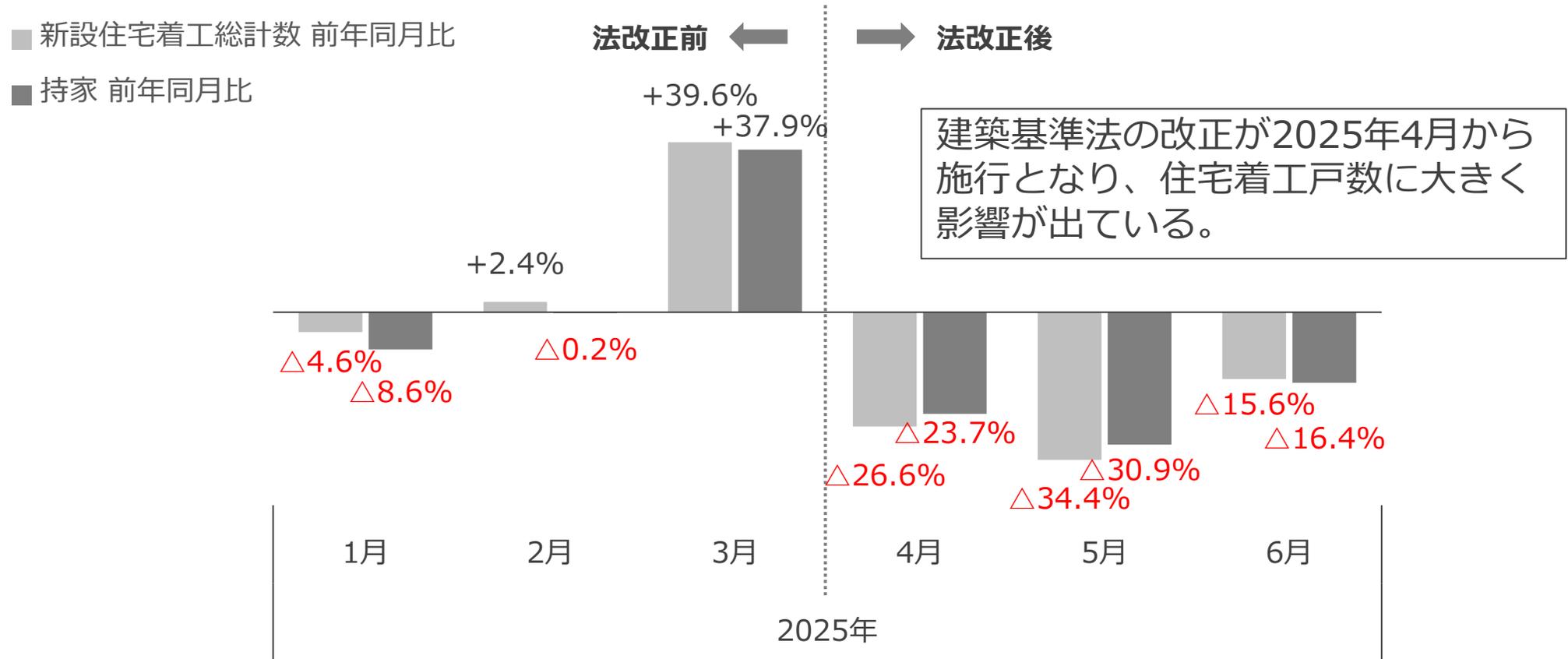
確認申請手続きの長期化による構造計算出荷の停滞

- 法改正により、確認手続きの期間が7日から35日に長期化。
- それに伴い、SE構法の販売（上棟）までのプロセスが約1か月間長期化したことで、4月・5月の構造計算出荷の進捗が停滞。



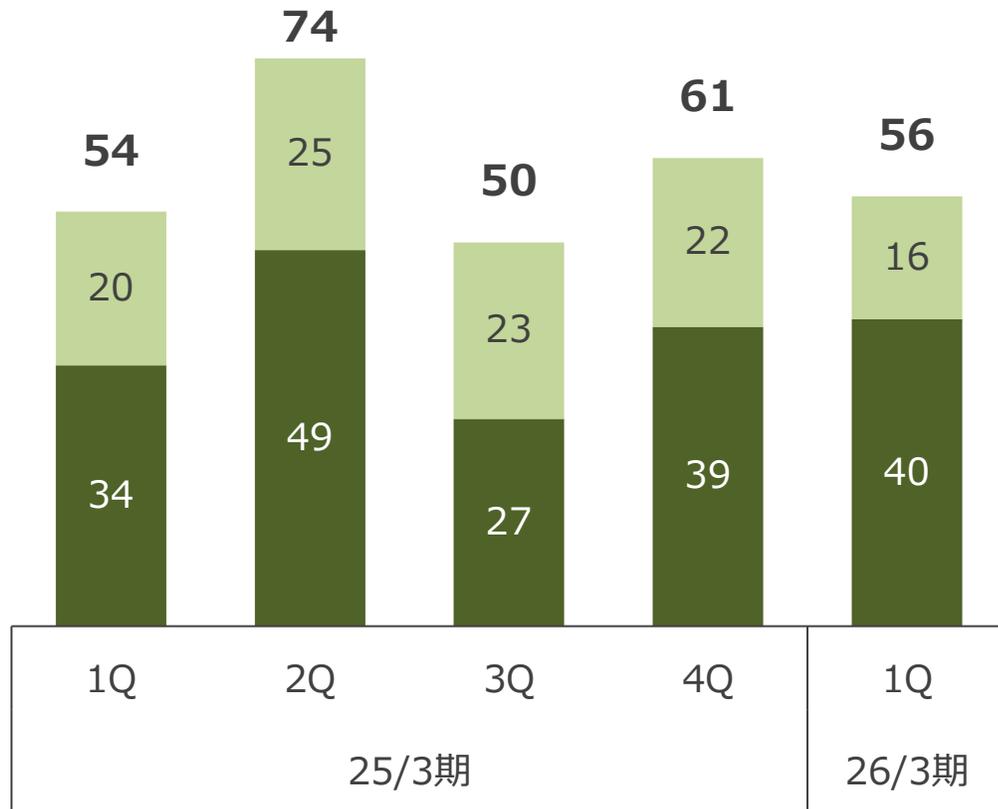
- 3月に駆け込み着工が発生し、4月以降はその反動で大きく着工数が減少した状態が続いている。

新設住宅着工戸数の前年同月比推移

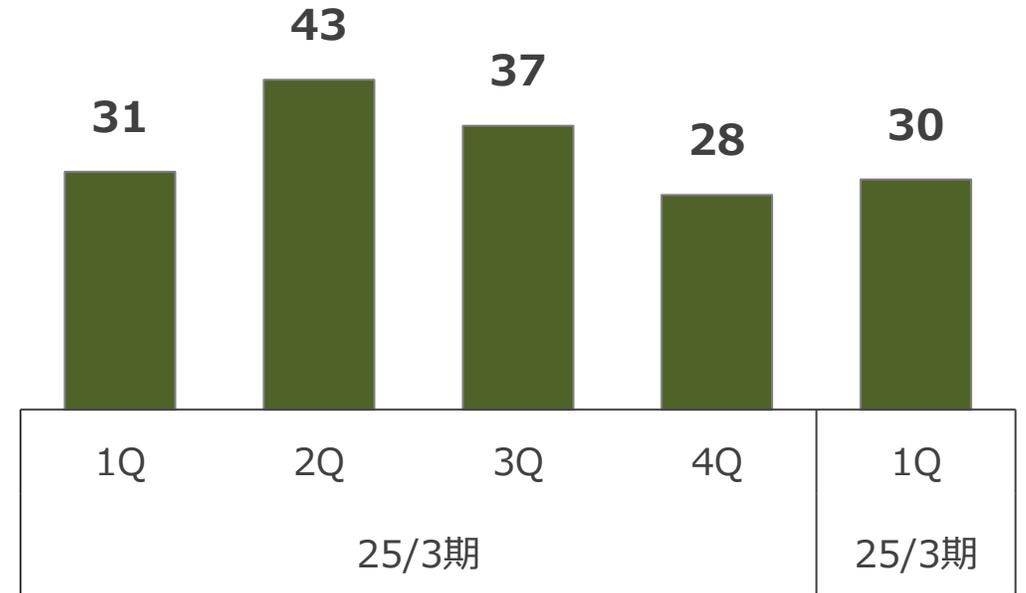


- 構造計算出荷数及びSE構法出荷数は前年同期並みとなった。

構造計算出荷数（棟）

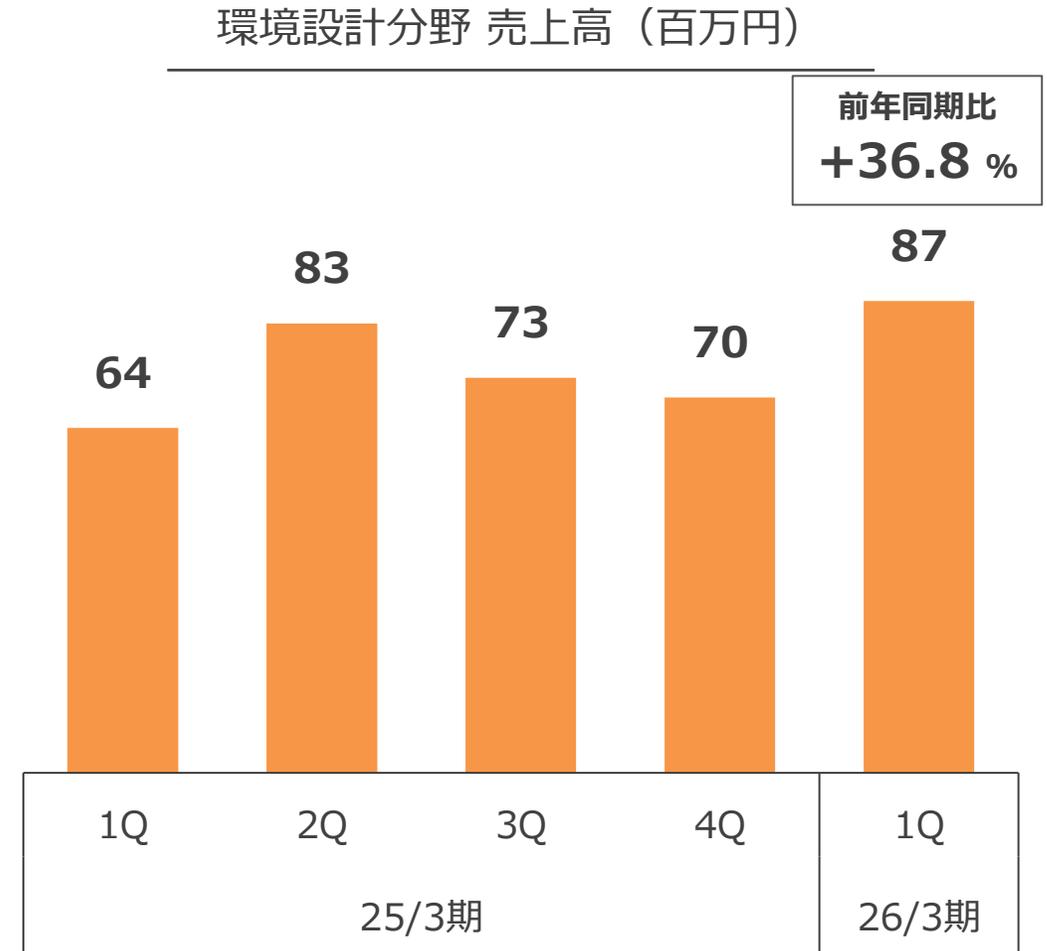
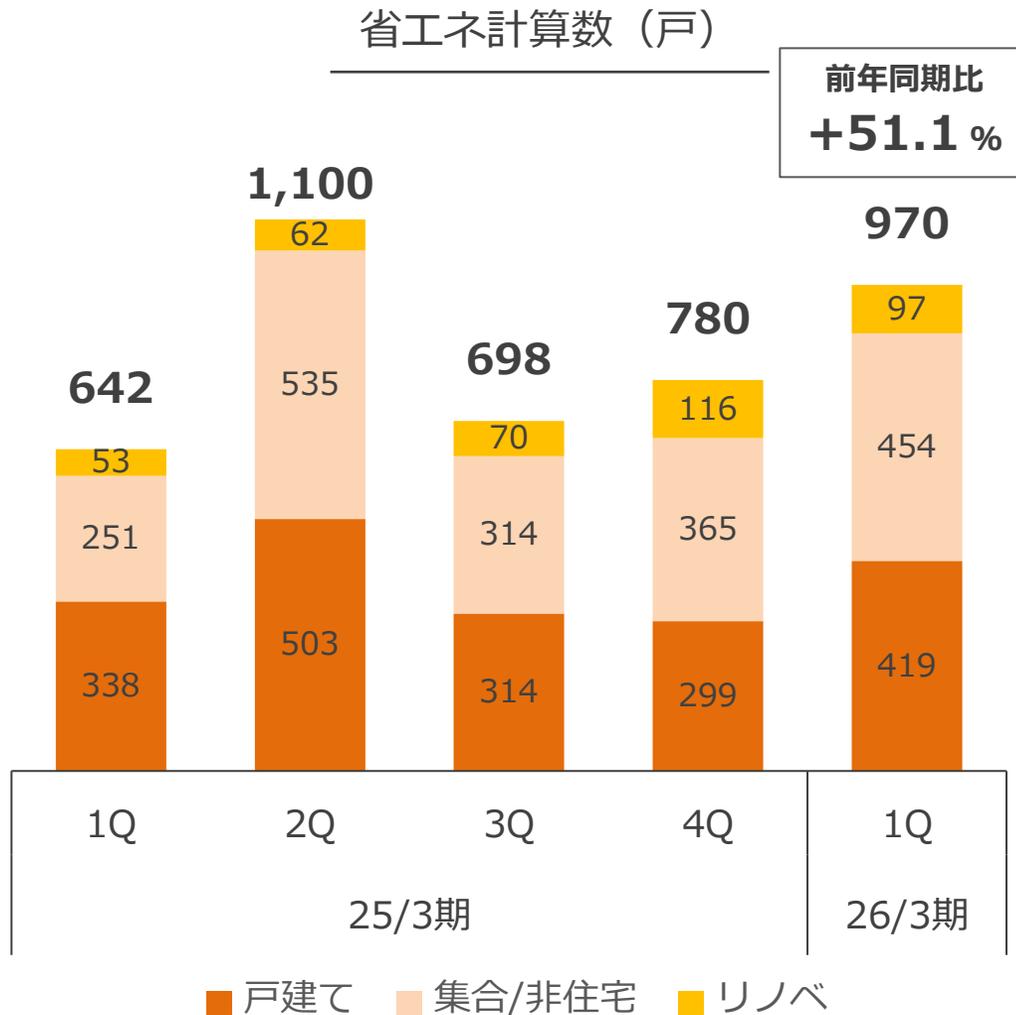


SE構法出荷数（棟）



■ SE構法（NCN） ■ SE構法以外(木構造デザイン)

- 戸建て、集合/非住宅、リノベの全てにおいて、省エネ計算数が前年同期を大きく上回り、順調に成長。



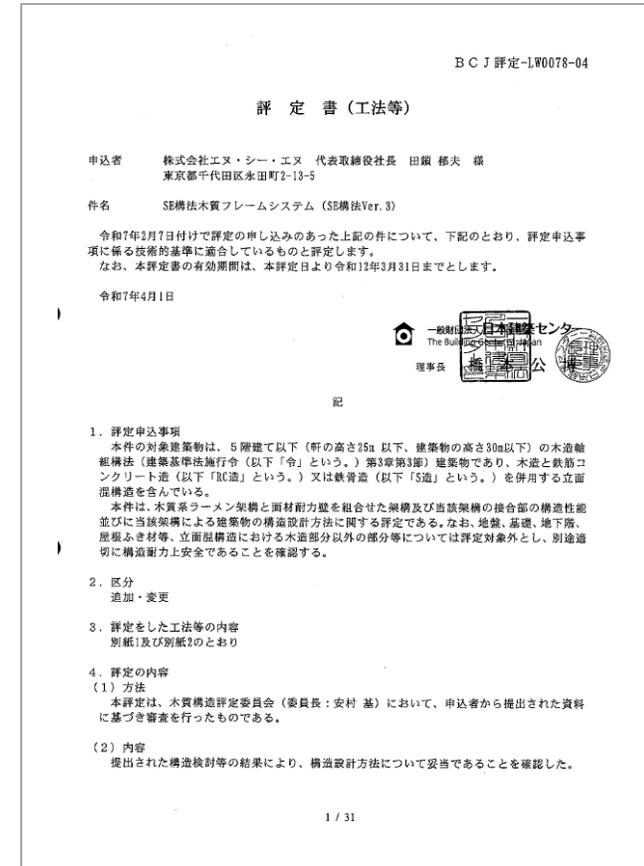
3. 第1四半期のトピックス

- 多様化・大型化する大規模木造建築への対応を強化、2026年建築基準法厳格化にも対応
- 木造住宅でも更に壁の少ない自由な設計を可能とする「SE構法Ver.3」販売開始

SE構法の性能・適用範囲の大幅アップ

改良点（SE構法Ver.3の特徴）

- ① 耐力壁の大幅強化 **従来商品の約1.57倍**
- ② スパン制限の解除 **12m ⇒ 制限なし**
- ③ 階高（1階層ごとの高さ）のアップ **4.5m ⇒ 6m**
- ④ コストの維持・低減



評定取得日：2025年4月1日

評定番号：BCJ評定-LW0078 -04

- SE構法Ver.3は耐力と剛性を備え、ほぼ100%木質廃棄物を原材料とする構造用パーティクルボード「G-BOARD」を採用。
- 従来の構造用合板より剛性が高く、地震時の建物変形を大幅に軽減することが可能となり、建築基準法改正によって、住宅での必要壁量が増えることに対し大空間の開放的な住宅設計が実現。

超高耐力の壁『G-BOARD』の採用

G-BOARD : 壁倍率換算**11.7倍相当 (当社比1.57倍)**

在来工法壁合板 : 壁倍率2.5倍

G-BOARDの特徴

- ✓ 合板よりも**強い**
- ✓ 合板よりも**エコ素材**
- ✓ 合板よりも**価格安定**
- ✓ 合板よりも**透湿抵抗が低い** (結露しづらい)



超高耐力の壁「G-BOARD」

- 木造枠組壁工法（ツーバイフォー工法）のリーディングカンパニーである三井ホーム株式会社と販売提携をおこない、同社が初めてSE構法を採用して設計した中学校の校舎増築プロジェクトが着工。

[販売提携の経緯]

カーボンニュートラルの実現に向け、施設建築等における非住宅分野での木造化が一層期待される中、これまでツーバイフォー工法では対応が困難であった規模や構造の木造建築を実現するため、当社とSE構法の販売で提携。

「SE構法」を採用いただくことで多様な木造工法を組み合わせた提案が可能となり、非住宅建築物における木造化のさらなる普及と市場対応力を強化。

桜の聖母学院中学校（福島県）の木造校舎増築プロジェクト



新校舎外観イメージ



教室イメージ



2階交流スペースイメージ

- 2025年6月4日～6月6日に東京ビックサイトで開催された「非住宅・木造建築フェア2025」にブースを構え、SE構法のPRを実施。業界関係者を中心に1,000人以上がブースに来場。
- 10月に大阪で開催される「住まい・建築・不動産の総合展」にも出展予定。



非住宅・木造建築フェア2025で出展したブースの写真



- 昨年度より、コスモスイニシア、YKK AP、u.companyと当社の4社でマンションリノベーション事業において連携し、既存建築物の省エネルギー化に寄与。

[各社の役割]

- コスモスイニシア : マンションリノベーション事業者
- YKK AP : 開口部及びその他省エネルギー関連建材に関するコンサルティング
- u.company : 省エネルギー推進コンサルティング
- エヌ・シー・エヌ : 省エネルギー計算



リノベーションにより省エネ化が完了した「コスモポリス品川」

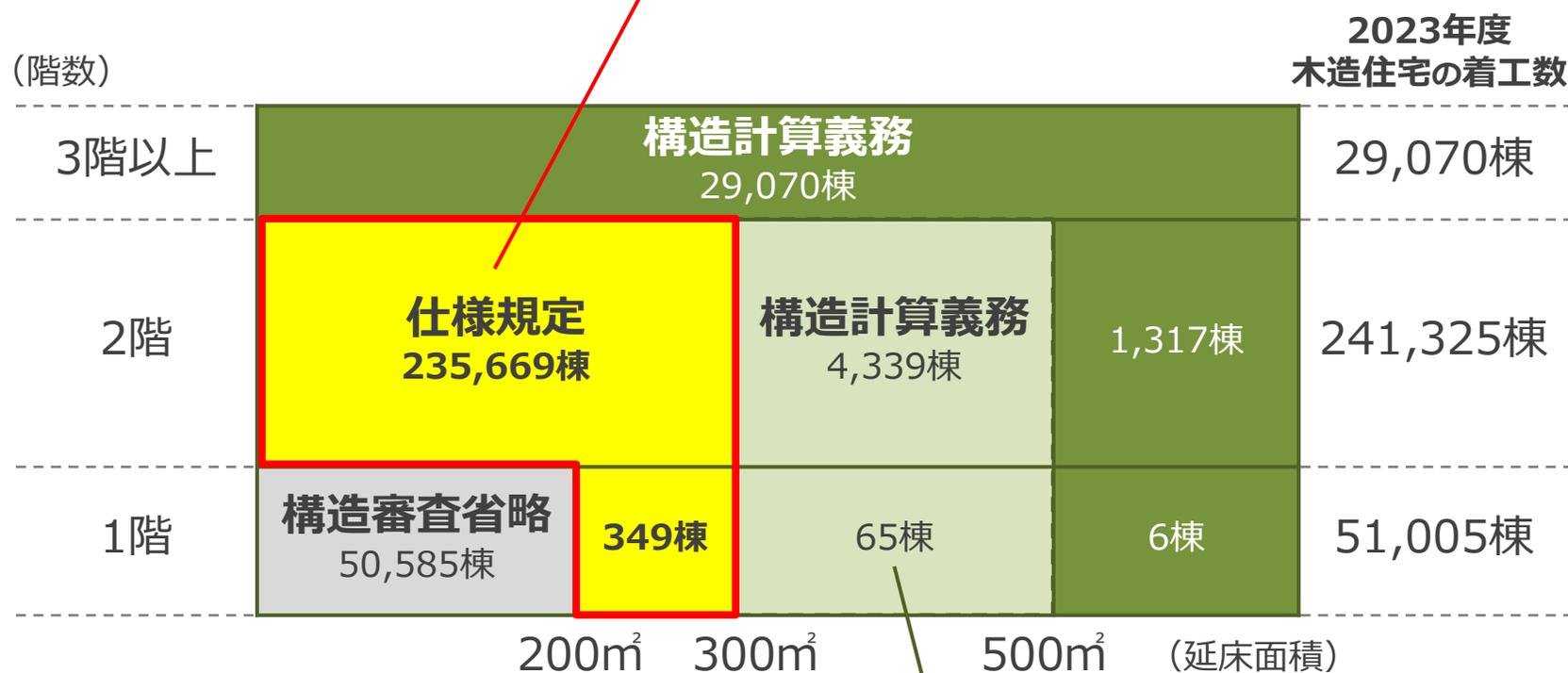
4. 今期の課題と戦略

分野	外部環境と方針
住宅分野	<ul style="list-style-type: none">• SE構法の採用率の向上• 法改正による確認手続きの長期化
大規模木造建築 (非住宅)分野	<ul style="list-style-type: none">• SE構法の施工・受注網の拡大によりシェア率UP• 非住宅木造建築に特化したネットワークの設立
環境分野	<ul style="list-style-type: none">• 非住宅向け省エネ認定（ZEB化）支援を強化• 中古マンション市場でのマーケット拡大

- 法改正により、2026年4月以降は約24万棟の木造住宅に対して構造の審査基準が変更（厳格化）される。

〔木造建築物における建築確認審査の対象となる規模の改正〕

法改正により2026年4月から構造審査が厳しくなるゾーン



出所：住宅産業研究所

※ 対象期間：23年度（23年4月～24年3月）

※ 対象エリア：全国（データが欠損している、東京都・大阪府・北海道などの一部の市区町を除く）

Copyright© New Constructor's Network Co., Ltd. All rights reserved.

在来工法



- 日本で最も多い建て方で、筋交い（補強）を多用して、壁量を多くすることで耐震性を高める工法
- 作り手の熟練度合いによって品質にばらつきがある

筋交い



(柱の間にある斜めの部材)

仕様規定

筋交い等の本数を規定

枠組壁工法

(ツーバイフォー工法)



- ツーバイ材を用いて壁や床などの面で建物を支える工法
- 面が多いほど強くなるので開口部を極力小さくすることで耐震性を高められることができる

ツーバイ材



(38mm×89mmの板状の木材)

仕様規定

パネルの枚数を規定

SE構法



- 柱と梁を鉄骨造のように強固に接合されている「ラーメン構造」を採用
- 全棟構造計算を実施し、品質の安定した木材を使用
- 施工性が高く、作り手によって品質の差がない

ラーメン構造



(柱と梁の接合部を剛接合した構造)

構造計算

実験に基づく構造計算

2026年4月より仕様規定の厳格化

構造計算は変更なし

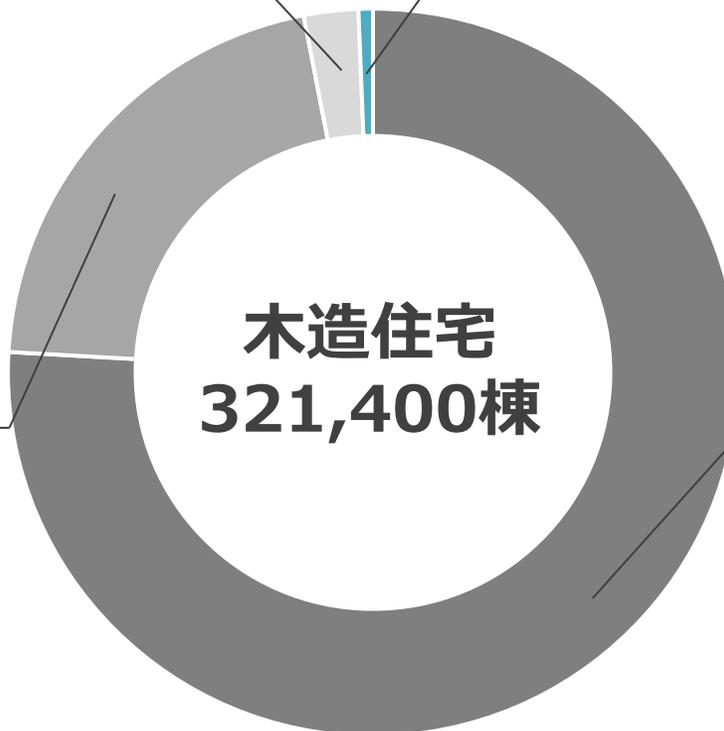
その他の工法 (木質プレハブ等) 約4.7%

SE構法 0.3%



ツーバイフォー工法 約20%

在来工法 約75%



- 2026年4月より木造の構造基準が変更される。（厳格化）



国土交通省
 2023年10月改定版
 設計者・施工者の皆様へ

**2025年4月(予定)から
 小規模の木造住宅・建築物の
 構造基準が変わります**

木造構造基準見直し**3**つのポイント

- 1** 小規模の木造住宅・建築物が対象です。
- 2** 壁・柱の構造基準（壁量・柱の小径）が見直されます。
- 3** 2025年4月に施行予定です。

※本リーフレットの内容は、令和4年10月28日に公表された「木造建築物における省エネ化等による建築物の重量化に対応するための必要な壁量等の基準(案)の概要」から変更されています。詳細な内容については、今後、国土交通省ホームページにおいて公表予定です。引き続き、政省令告示等の検討を進め、パブリックコメント等の手続きを経た上で確定、公布の予定としています。

2023年10月 国土交通省より

木造戸建住宅の壁量計算等を見直し

在来工法やツーバイフォー工法の必要壁量が1.4倍に増加
 （間取りの制約が発生）



SE構法はバージョンアップにより必要壁量が減少
 （間取りの自由度アップ）

※構造基準の見直しは1年延期され、2026年4月より実施となった

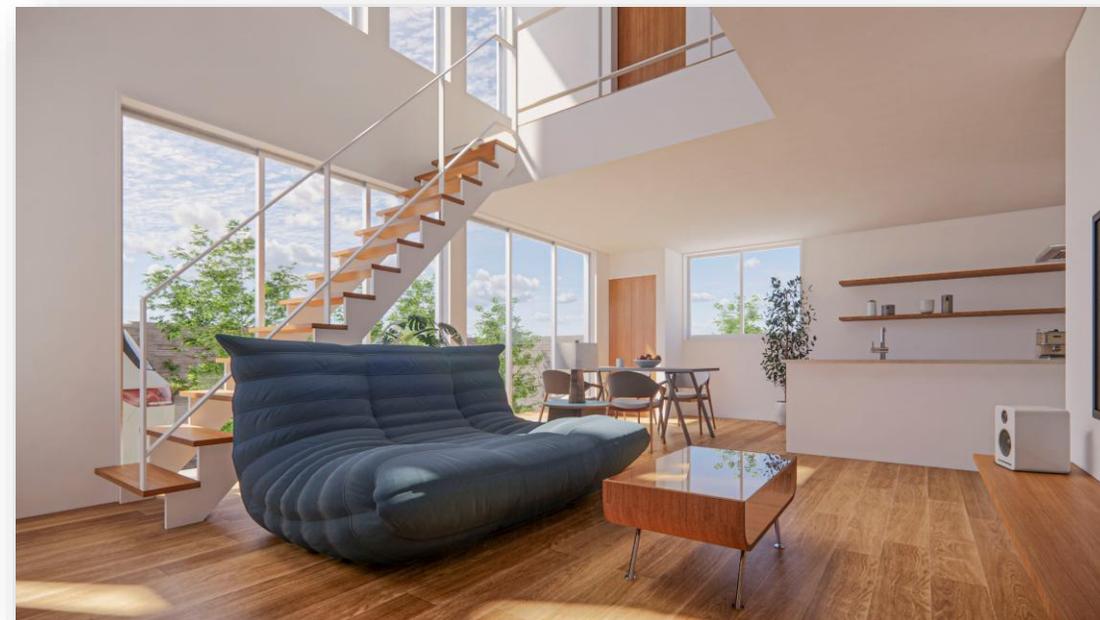
- 在来木造建築物の構造基準の変更により、2026年4月以降の住宅設計はこれまでよりも壁量が多くなることが発表された。
- 木造でありながら、鉄骨と同様のラーメン構造が可能になる「SE構法」を採用することで、自由に開放感のある間取りを実現することが可能となり優位性は拡大する。

在来工法



(間取りの制約が発生)

SE構法



(間取りの自由度アップ)

- 法改正により、構造審査が厳格化されることになり、在来工法からSE構法への切り替えが加速する。
- 住宅分野の登録施工店515社（大手ハウスメーカーおよびFC加盟店を除く）におけるSE構法採用数は年間752棟だが、他工法も含む販売数は年間9,650棟であり、SE構法の採用率向上による出荷数の増加余地は大きい。

① 構造審査の厳格化

SE構法はこれまで、計算費用分が他社よりも余計にかかっていた

[現在]

仕様規定
審査不要



[法改正後]

仕様の厳格化
構造の審査

② 優位性の拡大

在来工法からSE構法への
切り替えが加速

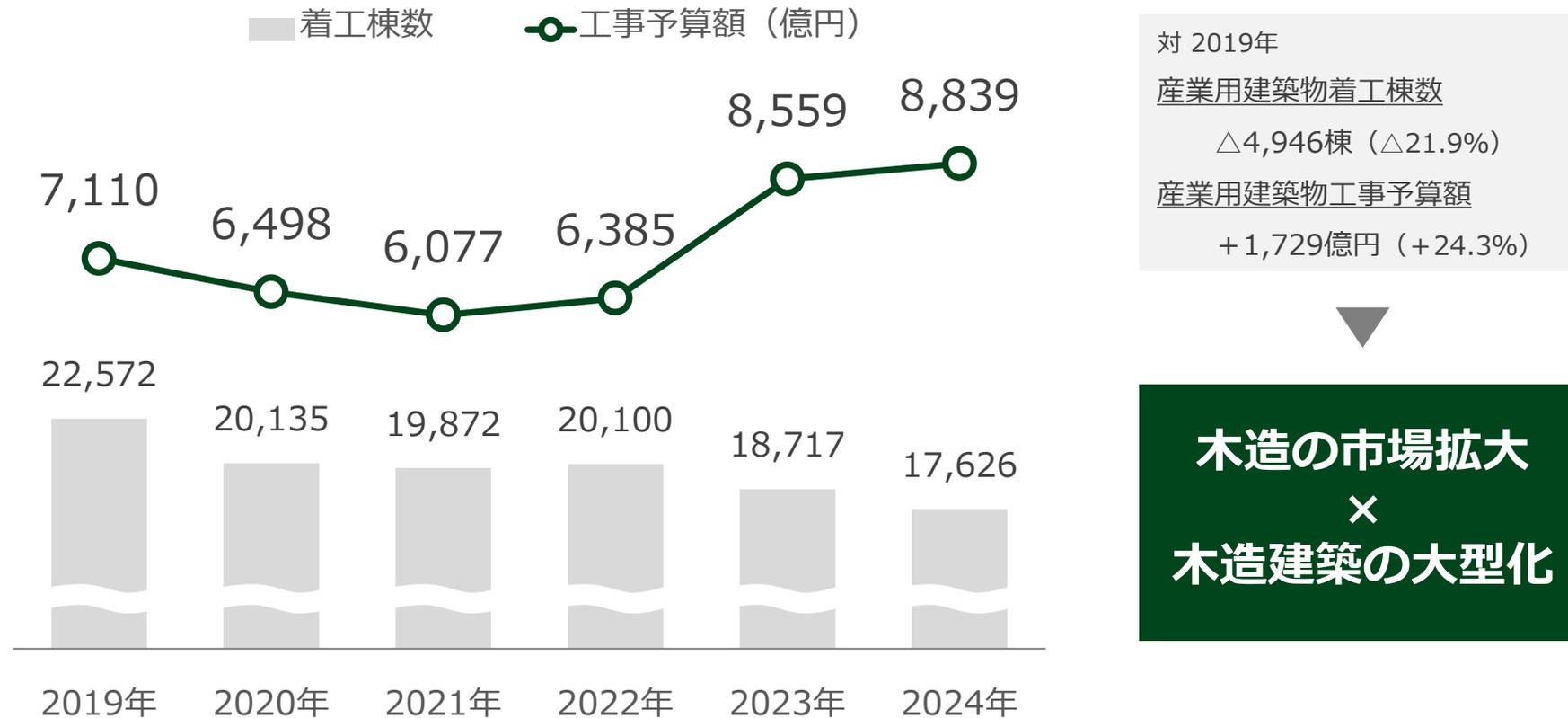
住宅分野の登録施工店数 (大手ハウスメーカー・FC加盟店を除く)	515社
上記登録店の年間販売棟数	9,650棟
うちSE構法採用数	752棟

(2025年3月期/当社調べ)



- 脱炭素社会の実現に資する等のための建築物等における木材の利用の促進に関する法律（通称：都市（まち）の木造化推進法）の影響により、木造非住宅の市場規模が拡大。

木造産業用建築物の着工棟数と工事予算額の推移



出所：国土交通省『建築着工統計調査』

NCN（SE構法）は木造非住宅市場の拡大に対応した生産体制が構築されており、更なる事業拡大を目指す。

①

技術を蓄積した木造構造設計

✓ 木造構造設計累計3万棟を超える実績



②

提携プレカット工場による 大型木造建築対応可能な加工体制

✓ 全国13工場

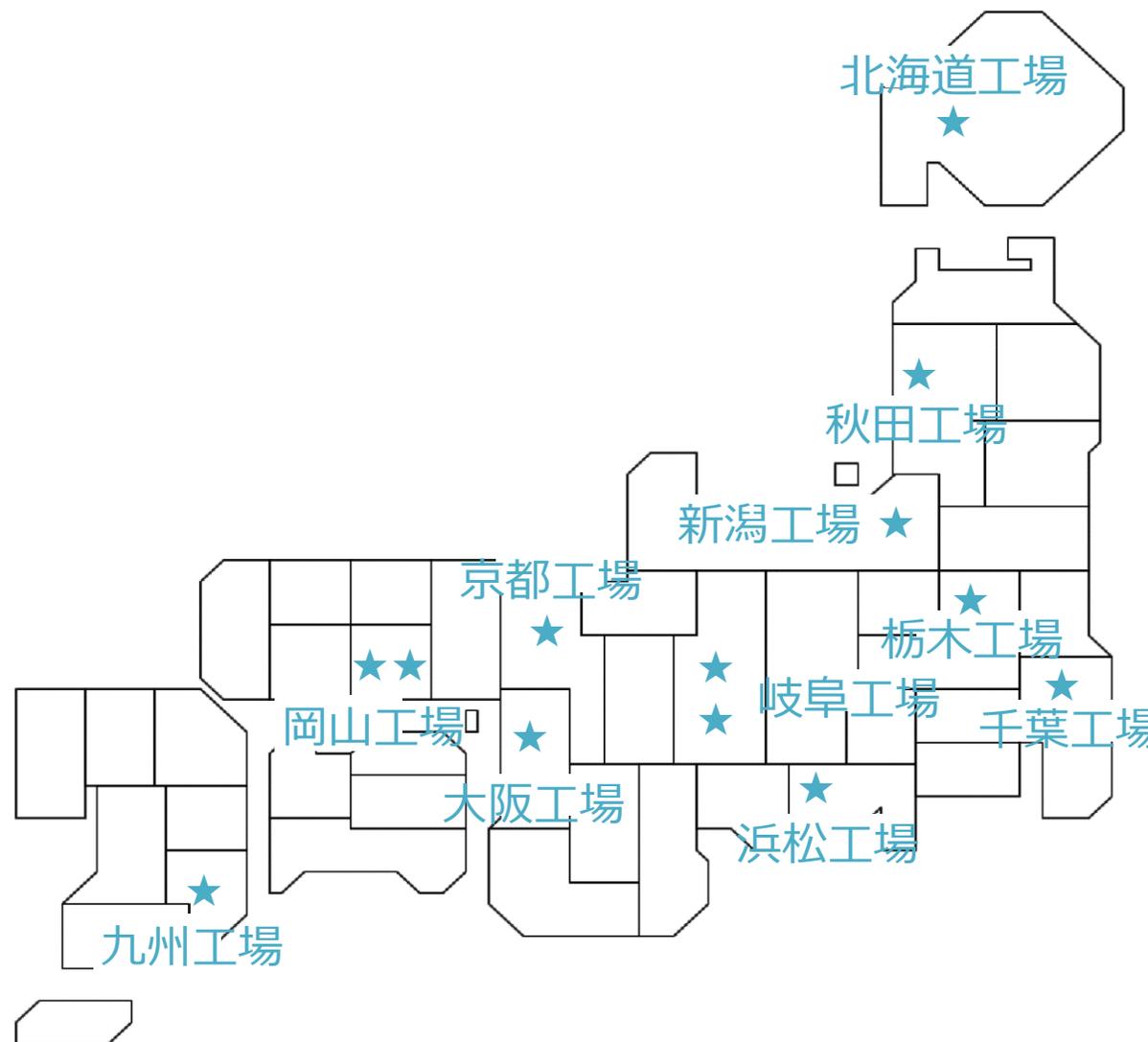


③

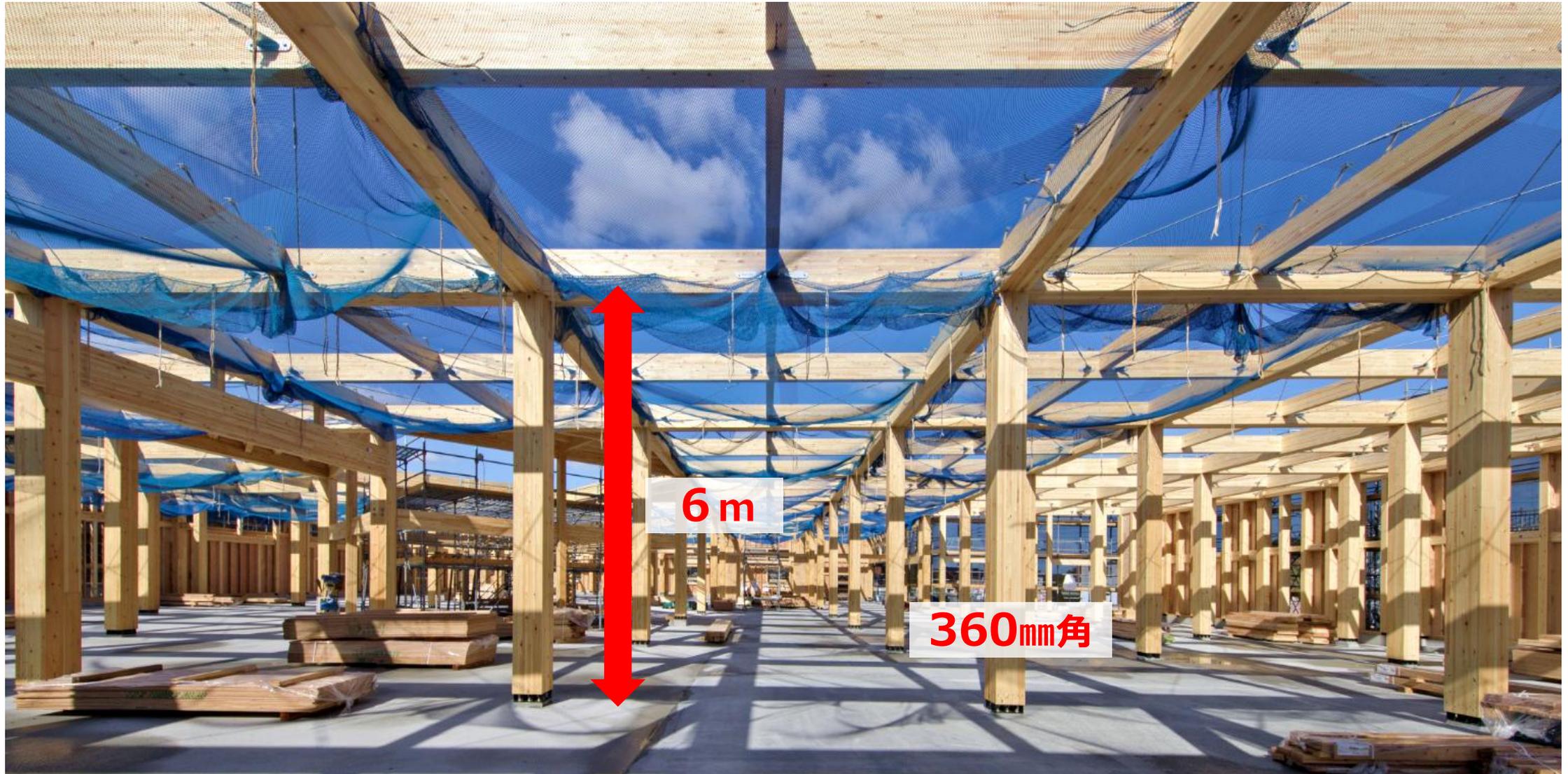
施工店ネットワークによる施工体制

✓ 大規模木造建築ネットワークの設立

稼働中の生産拠点（13工場）	
北海道工場	物林(株)
秋田工場	ティンバラム(株)
新潟工場	(株)タツミ
栃木工場	
千葉工場	(株)大三商行
岐阜工場	セブン工業(株)
岐阜工場	(株)翠豊
浜松工場	ハイビック(株)
京都工場	(株)岡本銘木店
大阪工場	マルコマ(株)
岡山工場	院庄林業(株)
岡山工場	銘建工業(株)
九州工場	ランバー宮崎



- SE構法Ver.3で高さ・スパンの制限解除が実現し、今後SE構法によって鉄骨からの置き換えが可能に。



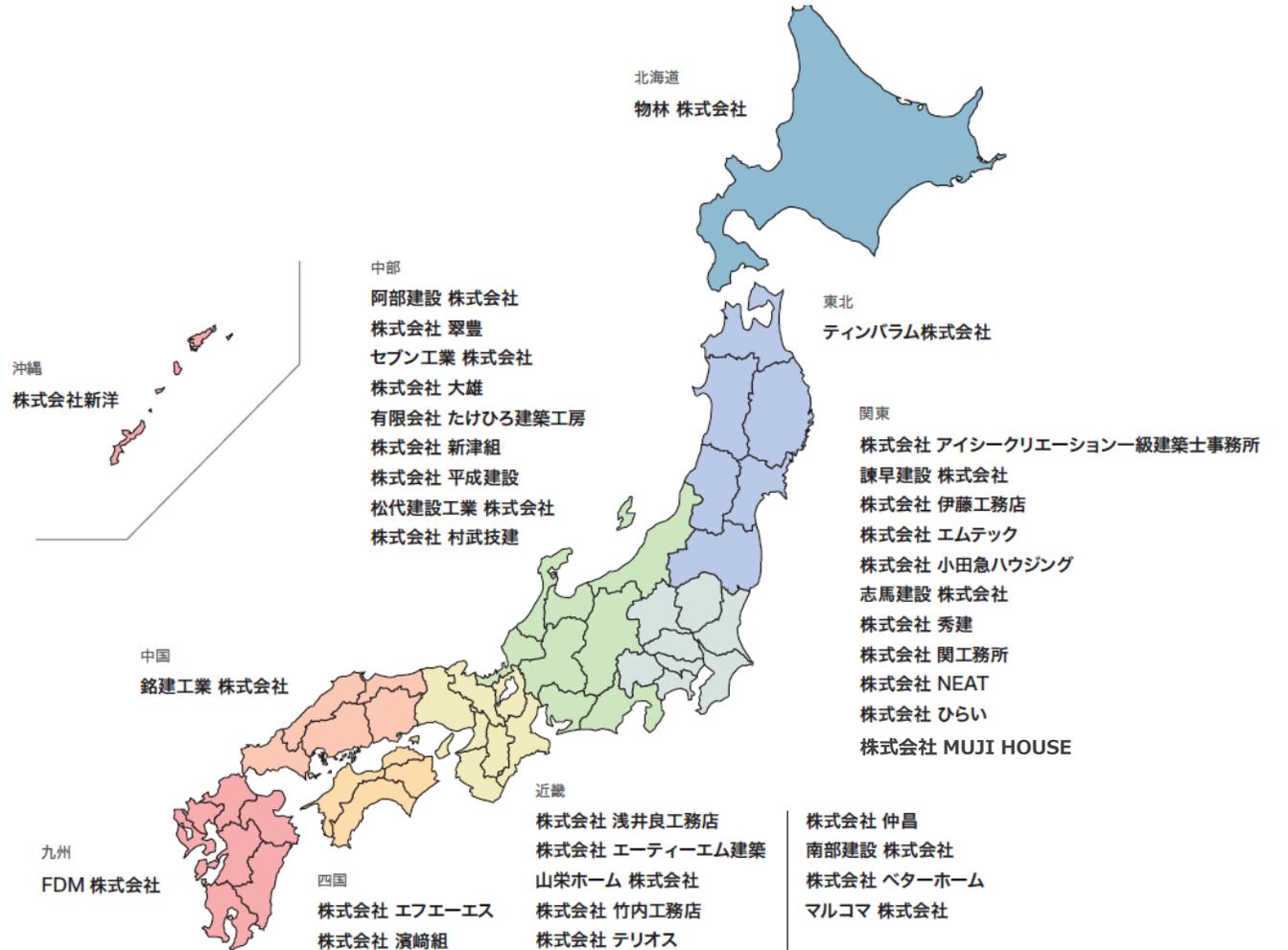
- 600社以上の登録施工店から非住宅を得意とする工務店を新たにネットワーク化し、全国の中大規模建築の木造化をサポート。36社の工務店が参画。

『大規模木造建築ネットワーク』 2025年7月1日より活動を開始



他に類を見ない
国内最大級の
大規模木造の
ネットワーク

5月27日開催 大規模木造建築ネットワーク発表会





構造設計



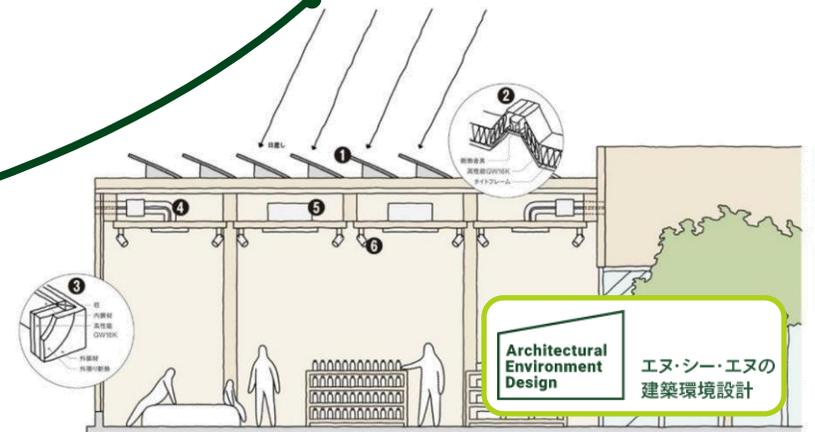
施工



環境設計



BIM



- 省エネ計算の需要は年々高まり、住宅以外のリノベーションや施設建築物にサービス領域が拡大。
- 今後も成長が期待できる。

省エネ計算書

あなたの家の省エネルギー性能

住宅の省エネルギー性能は、国土交通省の定める省エネルギー性能評価制度に基づき、等級4相当以上の性能を有する建築物に認定されます。

- 外皮平均熱貫流率 (UA値)**
 断熱性能が優れた建築物から、断熱性能の低い建築物まで、等級1～5の5段階で評価されます。
 等級1～5はUA値の範囲で評価されます。
- 冷暖房平均日射取得率 (G値)**
 断熱性能が優れた建築物から、断熱性能の低い建築物まで、等級1～5の5段階で評価されます。
 等級1～5はG値の範囲で評価されます。
- 一次エネルギー消費量**
 断熱性能が優れた建築物から、断熱性能の低い建築物まで、等級1～5の5段階で評価されます。
 等級1～5は一次エネルギー消費量の範囲で評価されます。

では、実際にあなたの家の省エネルギー性能を確認してみましょう。

外皮平均熱貫流率 (UA値)		等級4相当	
基準値 (等級5)	0.80以下	あなたの家のUA値	0.73
等級1	0.40以下	等級2	0.50以下
等級3	0.60以下	等級4	0.70以下

冷暖房平均日射取得率 (G値)		等級4相当	
基準値 (等級5)	0.00	あなたの家のG値	2.6
等級1	0.00	等級2	0.50
等級3	1.00	等級4	2.00

一次エネルギー消費量		等級5相当	
基準値 (等級5)	0.00	あなたの家の一次エネルギー消費量	0.065
等級1	0.00	等級2	0.05
等級3	0.05	等級4	0.10

あなたの家の省エネルギー性能から、年間の光熱費が確認できます。

年間光熱費の内訳 (2024年度推定値)

項目	標準的な家	あなたの家
暖房費	81,870 円	74,470 円
冷房費	0 円	0 円
給湯費	15,360 円	14,700 円
照明費	49,130 円	38,840 円
空調費	71,580 円	68,510 円
その他設備費	0 円	0 円
立退料等	0 円	0 円
合計	207,940 円	196,520 円

年間光熱費の比較 (標準的な家 vs あなたの家)

標準的な家: 207,940 円
 あなたの家: 196,520 円
 削減率: -5.5%

戸建



施設建築



リノベーション



領域の拡大

建設業界を取り巻く環境

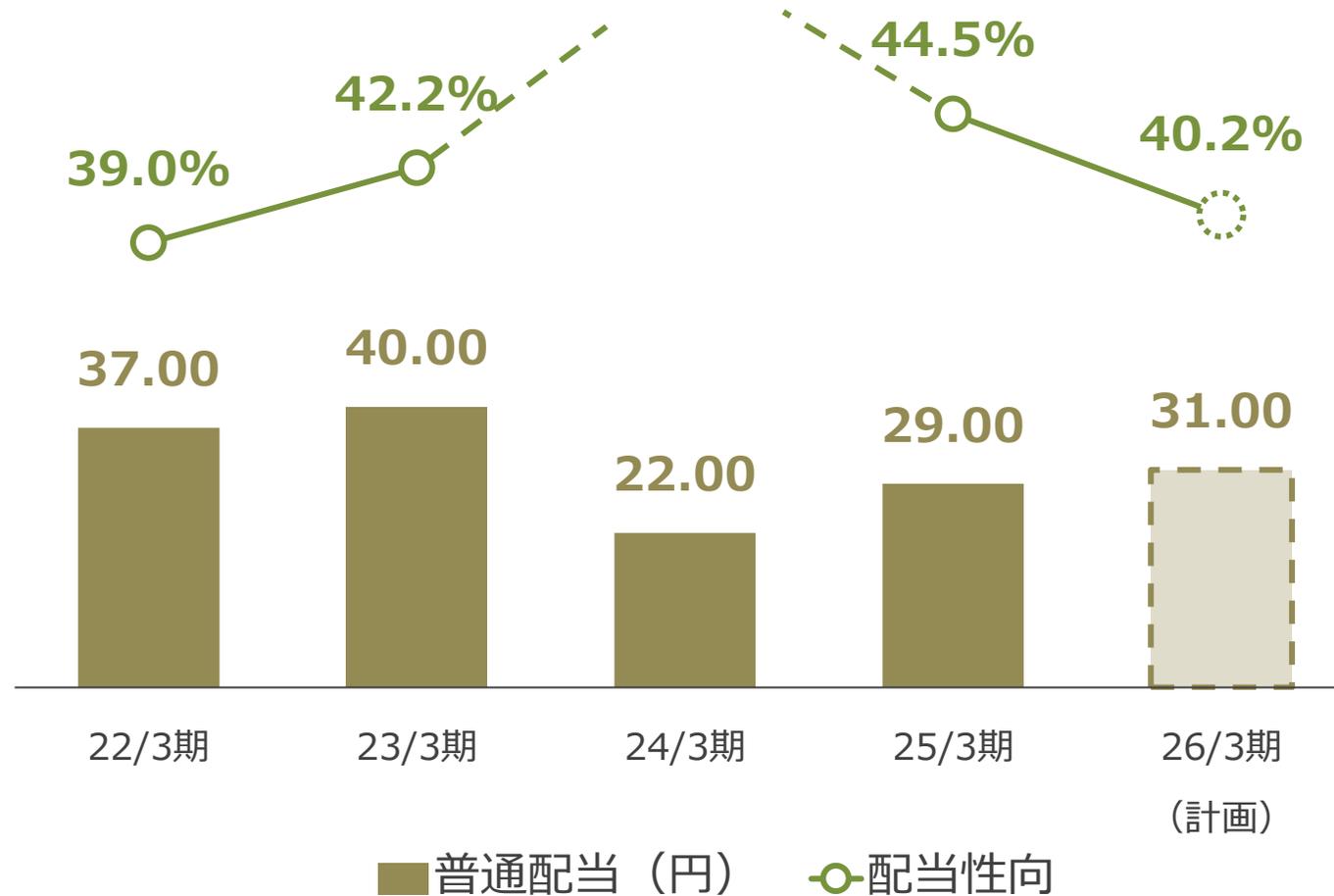
- ① 建築基準法の厳格化
- ② 脱炭素化・SDGs
- ③ デジタル化・AI化



5. 株主還元の方針

[配当方針]

連結業績に基づいた年間配当性向40%を基準として継続的かつ安定的に実施する方針。





日本の
家を
100%
耐震に。

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料は、発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定を前提としており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

今後、実際の業績は、金融市場の動向、経済の状況、競合の状況や地価の変動の他、様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

なお、本資料に記載した連結業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断される一定の前提に基づくものであり、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(本資料中の画像について)

本資料中の画像には、実物の写真のほか完成イメージ図が使用されています。